

科目番号	GB201							
科目名	野生鳥獣被害対策 実習2							
担当教員	新見 満			所属等	県立森林大学校森林教育専門員			
					兵庫県猟友会佐用支部			
科目区分	選択科目				人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年				授業形態	実習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1		
授業時間数	15 コマ				(30 単位時間)			
実務経験のある教員による授業科目				—	左の実務経験の内容	—		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無				○	左の実務経験の内容	狩猟		
実務経験を活かした授業内容	猟友会会員であり、狩猟経験豊富な狩猟免許所持者から、わなの設置における注意事項などを学ぶ。							

目的	狩猟免許（わな）の取得に向けた講習会の受講及び狩猟免許（わな）試験の受験		
概要	狩猟免許（わな）取得に向けて実践的な研修を行うとともに、狩猟免許（わな）試験を受験し、免許取得を目指す。		
キーワード	①狩猟免許講習（わな） ②狩猟免許試験（わな）		
関連する科目	野生鳥獣被害対策、同実習1		
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
	○	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	免許取得50%、出席30%、態度20%		

授業計画	テーマ	講義内容
1	狩猟免許講習（わな） （県猟友会主催講習会の受講）	狩猟免許（わな）の取得に向けた講習
2	狩猟免許講習（わな） （県猟友会主催講習会の受講）	狩猟免許（わな）の取得に向けた講習
3	狩猟免許講習（わな） （県猟友会主催講習会の受講）	狩猟免許（わな）の取得に向けた講習
4	狩猟免許講習（わな） （県猟友会主催講習会の受講）	狩猟免許（わな）の取得に向けた講習
5	狩猟実習1 （わな架設）	箱わな架設、管理、撤収 （かぞえものの架設、操作方法の取得）
6	狩猟実習1 （わな架設）	箱わな架設、管理、撤収 （かぞえものの架設、操作方法の取得）
7	狩猟免許試験受験	狩猟免許試験（わな）を受験し、取得を目指す
8	狩猟免許試験受験	狩猟免許試験（わな）を受験し、取得を目指す
9	狩猟免許試験受験	狩猟免許試験（わな）を受験し、取得を目指す
10	狩猟免許試験受験	狩猟免許試験（わな）を受験し、取得を目指す
11	狩猟実習1 （わな架設）	箱わな架設、管理、撤収 （かぞえものの撤収）
12	狩猟実習2 （有害捕獲）	猟友会の活動を学ぶ （猟友会支部の有害捕獲活動を学ぶ）
13	狩猟実習2 （有害捕獲）	猟友会の活動を学ぶ （猟友会支部の有害捕獲活動を学ぶ）
14	獣肉の加工施設見学	獣肉加工施設について学ぶ
15	まとめ	ふりかえりとまとめ

テキスト	
参考書	狩猟読本
関連する資格	狩猟免許（わな）
備考	

科目番号	GA202						
科目名	森林美学						
担当教員	小林 敬一郎			所属等	奈良芸術短期大学名誉教授		
科目区分	選択科目			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年			授業形態	講義・演習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2	
授業時間数	15			コマ	(30 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目				—	左の実務経験の内容	—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無				—	左の実務経験の内容	—	
実務経験を活かした授業内容							

目的	森林に対する審美術を身につけることにより「いのちの森」を考察する。		
概要	環境・文化・健康・暮らしのあり方を理解し、生態系との関わり方を本質的に見極める能力を育む。		
キーワード	森林、草地、川、湖、沼、田畑、自然と人間との共生、環境・文化		
関連する科目	森林生態学 造林学 造園学		
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	筆記試験50%、レポート30%、出席・態度20%		

授業計画	テーマ	講義内容
1	ガイダンス	授業の進め方と講義概要
2	森林を創る活かす	森林美学とは、用語解説
3	日本の森林美	天然美と風景
4	日本の森林美	自然美と芸術美
5	樹木の美的価値	針葉樹、広葉樹、木々の色彩
6	樹木の美的価値	花、実、葉、(鳥)、デンマークの木の幸福論(ヒュッゲ)
7	森と木の文化	日本の森と木の文化・伝統木構造(組物の美)
8	森と木の文化	モデリング、課題ガイダンス
9	街の風景	公園と園庭、風景樹木と庭(ビオトープ)
10	街の風景	宅地造成、災害①、ミニチュア、モデリング、演習(2)
11	人災と生態	災害②
12	人災と生態	紙の木、油の木、ロウソクの木、ミニチュア、モデリング、演習(2)
13	まとめ	生態と人間
14	まとめ	日本文化と海外の森林事情、演習講評
15	試験、またはレポート提出	

テキスト	
参考書	授業中、適宜紹介します。
関連する資格	
備考	

科目番号	GA203					
科目名	森林情報論2					
担当教員	竹島 喜芳		所属等	中部大学准教授		
	岩成 麻子			県立森林大学校主任森林教育専門員		
科目区分	選択科目			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	2年			授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2
授業時間数	15 コマ			(30 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目			—	左の実務経験の内容 —		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無			—	左の実務経験の内容 —		
実務経験を活かした授業内容						

目的	GNSSやGIS、ドローン等によって、各自が直面する問題解決を意図し、これまで学習した各種技術を振り返りつつ、より高度な知識と技術の習得を目指す。					
概要	林業経営・森林施業の現場で既に定型業務となった空間情報技術を学習してきたのが「森林情報論」であるが、ここではそうした技術の応用力増強を意図し、各種技術の原理の理解と技術の習得を目指す。					
キーワード	GPS、GNSS、GIS、ドローン、リモートセンシング、航空レーザー、IOT					
関連する科目	森林情報論、森林計測学、森林計測学実習、測量学、測量学実習、作業道作設理論、作業道作設実習					
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得				
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得				
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得				
評価方法	出席20%、試験（実技）による評価80%					

授業計画	テーマ	講義内容
1	投影法（QGISとGE等）	空間参照システムの理解を深める。
2	文字データのGISデータ化	GNSS/GoogleEarth/QGIS間でのデータ相互運用法を習得する。
3	森林計画図のベクトル化	兵庫県の森林計画図（紙）のデジタル化（ベクトル化）の方法を学ぶ。
4	ベクトル演算等	ベクトルの特性を活かした処理やEXCELなどとの連携の習得。
5	森林簿と森林計画図のリンク	県の森林簿（紙）、森林計画図（紙）のGISデータ化
6	測量データのGISデータ化	測量データを使って資源データベースを作成する。
7	ドローン空撮	ドローン画像を使って資源データベースを作成する。
8	画像処理	コンピュータが画像を扱うときの原理を習得。
9	画像処理	色調補正やフィルターの適用による画像処理技術の習得。
10	合成公図等の作成	公図をGISの画像処理機能で森林計画図に合わせる技術を習得。
11	アドレスマッチングによる所有者管理	森林所有者管理のための技術習得する。
12	ラスター解析	標高データを使ったゾーニング等を行う。
13	ベクトルに基づく空間解析	資源データベースと路網を使った出材量予測の方法を習得
14	リモートセンシング概論	リモートセンシングとはどのような技術か概要を知る。
15	身近なGISを使って林業に活かす	現在、多様なGISが利用可能あり、そうした技術を林業に活かす。

テキスト	竹島喜芳、2014、実務で使う林業GIS、全国林業改良普及協会
参考書	
関連する資格	森林情報士2級
備考	各回の復習のため、課題（実習）を課す。森林情報論の履修者が受講。

科目番号	GA204					
科目名	森林施業プラン作成2					
担当教員	谷口 俊明		所属等	県立森林大学校長		
科目区分	選択科目			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	2年			授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1
授業時間数	8 コマ			(16 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目			—	左の実務経験の内容	—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無			—	左の実務経験の内容	—	
実務経験を活かした授業内容						

目的	森林大学校での2年間の折り返し地点を迎え、森林施業プランナー1次試験にチャレンジし、次代のリーダーとしての自覚を促す。	
概要	森林施業プランナー認定試験一次試験問題集を解きながら、これまでの学習成果を振り返るとともに、森林施業プランナーに必要な知識を習得する。	
キーワード	①森林施業プランナー	
関連する科目	森林計画、森林情報論、森林施業プラン作成1	
到達目標	—	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	○	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	履修態度30%、演習成果70%	

授業計画	テーマ	講義内容
1	森林施業プランナー認定試験問題演習	森林施業プランナー認定特別一次試験の取得に向けた演習
2	森林施業プランナー認定試験問題演習	森林施業プランナー認定特別一次試験の取得に向けた演習
3	森林施業プランナー認定試験問題演習	森林施業プランナー認定特別一次試験の取得に向けた演習
4	森林施業プランナー認定試験問題演習	森林施業プランナー認定特別一次試験の取得に向けた演習
5	森林施業プランナー認定試験問題演習	森林施業プランナー認定特別一次試験の取得に向けた演習
6	森林施業プランナー認定試験問題演習	森林施業プランナー認定特別一次試験の取得に向けた演習
7	森林施業プランナー認定試験問題演習	森林施業プランナー認定特別一次試験の取得に向けた演習
8	森林施業プランナー認定試験問題演習	森林施業プランナー認定特別一次試験の取得に向けた演習

テキスト	森林施業プランナー認定試験問題集（森林施業プランナー協会）
参考書	森林施業プランナーテキスト基礎編
関連する資格	森林施業プランナー
備考	

科目番号	GA205					
科目名	森林機能保全2					
担当教員	前嶋 昭		所属等	県立森林大学校森林教育専門員		
科目区分	選択科目			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	2年			授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2
授業時間数	15			コマ	(30 単位時間)	
実務経験のある教員による授業科目			○	左の実務経験の内容	治山工事の計画	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無			－	左の実務経験の内容	－	
実務経験を活かした授業内容	森林土木技術者としての実務経験を活かし、治山ダム計画の講義演習を行う。					

目的	森林の土砂流出防止機能を補完するために必要となる治山ダムの計画を行うため、荒廃溪流を現地調査のうえ山地災害危険地区の危険度を判定するほか、現況に応じた適切な治山ダムの計画方法を習得する。					
概要	現況や保全対象に応じた適切な治山ダムの計画について、現地調査や測量を実施のうえパソコンにより設計図等の計画書作成までの実務的な演習を行う。					
キーワード	森林の公益的機能、土砂災害、土石流、土砂災害危険地区、治山ダム					
関連する科目	森林機能保全1、測量学、測量学実習、情報処理2					
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得				
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得				
	－	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得				
評価方法	履修態度50%、演習成果50%					

授業計画	テーマ	講義内容
1	概論	兵庫県における治山対策の推進方策
2	概論	斜面の安定について
3	現地調査	溪流の荒廃状況、山腹崩壊の有無
4	現地調査	既存施設の有無、堆砂状況
5	現地調査	測量
6	現地調査	現地測量成果の図化、写真整理
7	治山ダム計画	兵庫県治山技術方針
8	治山ダム計画	兵庫県治山技術方針
9	治山ダム計画	治山ダム設計
10	治山ダム計画	治山ダム設計
11	治山ダム計画	治山ダム設計
12	治山ダム計画	治山ダム設計
13	治山ダム計画	数量計算、計画額の算出
14	治山ダム計画	数量計算、計画額の算出
15	復習	治山ダム計画の発表

テキスト	授業時に講師から配布
参考書	森林科学（文部科学省 2017）、森林土木学（朝倉出版 2021）
関連する資格	
備考	

科目番号	GB206					
科目名	木材生産機械 実習(技能講習等)					
担当教員				所属等	登録教習機関	
科目区分	選択科目			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	2年			授業形態	実習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1
授業時間数	20 コマ			(40 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目	-			左の実務経験の内容	-	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○			左の実務経験の内容	安全衛生規則で定める特別教育の講師の資格を満たす者	
実務経験を活かした授業内容	労働安全衛生規則で定める技能講習、安全衛生教育等の実施、チェンソーによる伐木技術安全衛生、チェンソーの点検及び整備等					

目的	林業機械を安全に操作できるように技能講習等を受講し、必要な知識および技能を習得する。	
概要	技能講習等を受講。(不整地運搬車、フォークリフト運転技能講習、はい作業従事者安全衛生教育)を進路に応じて2コース制で修得する。	
キーワード	技能講習、安全衛生教育	
関連する科目	林業機械学、林業架線学、林業労働安全、素材生産総合実習	
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	-	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	-	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	※評価対象外	

授業計画	テーマ	講義内容
1～4	不整地運搬車運転技能講習 (選択制:8コマ)	走行に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識、作業に関する装置の構造、取扱い及び作業方法に関する知識、運転に必要な一般的事項に関する知識、関係法令、走行の操作、作業のための装置の操
5～8	不整地運搬車運転技能講習	走行に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識、作業に関する装置の構造、取扱い及び作業方法に関する知識、運転に必要な一般的事項に関する知識、関係法令、走行の操作、作業のための装置の操
9～13	フォークリフト運転技能講習 (選択制:20コマ)	フォークリフトの荷役に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識、運転に必要な力学に関する知識、関係法令、走行の操作、荷役の操作
14～18	フォークリフト運転技能講習	フォークリフトの荷役に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識、運転に必要な力学に関する知識、関係法令、走行の操作、荷役の操作
19～23	フォークリフト運転技能講習	フォークリフトの荷役に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識、運転に必要な力学に関する知識、関係法令、走行の操作、荷役の操作
24～28	フォークリフト運転技能講習	フォークリフトの荷役に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識、運転に必要な力学に関する知識、関係法令、走行の操作、荷役の操作
29～33	はい作業従事者安全衛生教育 (選択制:5コマ)	はいに関する知識、荷役運搬機械等によるはい作業に関する知識、災害事例、関係法令、

テキスト	林業・木材製造業労働災害防止協会テキストほか各種技能講習等テキスト
参考書	
関連する資格	上記技能講習、安全衛生教育に係る修了証
備考	根拠法令：労働安全衛生法第76条(フォークリフト、不整地運搬車)：昭和59.2.16基発第76号による安全衛生教育(荷役運搬機械等によるはい作業従事者)

科目番号	GB207						
科目名	技術定着3						
担当教員	岩成 麻子 兼光 英喜		所属等	県立森林大学校主任森林教育専門員 県立森林大学校森林教育専門員			
科目区分	選択科目			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年			授業形態	実習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1	
授業時間数	15			コマ	(30 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目	-		左の実務経験の内容	-			
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	-		左の実務経験の内容	-			
実務経験を活かした授業内容							

目的	森林情報管理に関する技術演習	
概要	情報処理学、森林情報論、森林情報論実習で学んだGPSやGNSS、QGIS、ドローン、CADの利用について復習と発展学習を行い、業務で使用できることを目指す。	
キーワード	①GIS ②GNSS ③QGIS ④ドローン⑤CAD	
関連する科目	情報処理学、森林情報論、森林情報論実習、	
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	-	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	実習で指示する各課題の到達度40%、出席時間数40%、履修態度20%	

授業計画	テーマ	講義内容
1	GPSとQGISの復習	GPS, QGISの操作実習
2	GPSとQGISの復習	GPS, QGISの操作実習
3	GNSSとQGISの復習	GNSSとQGISの操作実習
4	GNSSとQGISの復習	GNSSとQGISの操作実習
5	QGISの復習	QGISの操作実習
6	QGISの復習	QGISの操作実習
7	QGISの復習	QGISの操作実習
8	CADの復習と発展学習	CADの復習
9	CADの復習と発展学習	CADの復習
10	CADの復習と発展学習	CADの発展学習
11	CADの復習と発展学習	CADの発展学習
12	ドローン操作	ドローン操作、画像処理実習
13	ドローン操作	ドローン操作、画像処理実習
14	ドローン操作、画像処理	ドローン操作、画像処理実習
15	ドローン操作、画像処理	ドローン操作、画像処理実習

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	

科目番号	GA208						
科目名	事業者高度化コース2						
担当教員	森林大学校研修課			所属等	森林大学校研修課		
科目区分	選択科目			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年			授業形態	講義・演習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2	
授業時間数	20			コマ	(40 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目				—	左の実務経験の内容	—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無				—	左の実務経験の内容	—	
実務経験を活かした授業内容							

目的	林業従事者及び木材産業関係者、建築関係者等を対象とした森林林業に係る専門的な研修を受講することで、知識や技術の高度化を図る。		
概要	基礎知識・技術を習得している林業従事者等との合同講義とすることで、相互に刺激し合い履修効果をより高める。		
キーワード	路網作設、特殊伐採、森林施業プラン、GNSS、ドローン、3次元計測、QGIS、森林環境教育、木材活用、建築		
関連する科目	森林計画、森林土木、林業機械、林産、経済・法律等、森林環境		
到達目標	<input type="radio"/>	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	<input type="radio"/>	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
	<input type="radio"/>	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	レポート50%、出席25%、受講態度25% 研修内容が講義・演習の研修については、履修8コマにつき1単位を授与する。 実習の研修については、履修15コマにつき1単位を授与する。		

授業計画	テーマ	講義内容
1	GNSS活用研修	GNSSにより位置特定や測量を容易に行うための活用方法
2	GNSS活用研修	GNSSにより位置特定や測量を容易に行うための活用方法
3	GNSS活用研修	GNSSにより位置特定や測量を容易に行うための活用方法
4	GNSS活用研修	GNSSにより位置特定や測量を容易に行うための活用方法
5	QGIS操作研修	QGISにより詳細な地形情報等を森林林業に活用するため基礎操作
6	QGIS操作研修	QGISにより詳細な地形情報等を森林林業に活用するため基礎操作
7	QGIS操作研修	QGISにより詳細な地形情報等を森林林業に活用するため基礎操作
8	QGIS操作研修	QGISにより詳細な地形情報等を森林林業に活用するため基礎操作
9	QGIS実務研修	QGISにより詳細な地形情報等を森林林業に活用するため実務方法
10	QGIS実務研修	QGISにより詳細な地形情報等を森林林業に活用するため実務方法
11	QGIS実務研修	QGISにより詳細な地形情報等を森林林業に活用するため実務方法
12	QGIS実務研修	QGISにより詳細な地形情報等を森林林業に活用するため実務方法
13	スマート林業推進研修	LPWAやアシストスーツなど軽労化、省力化に資する機器の活用法
14	スマート林業推進研修	LPWAやアシストスーツなど軽労化、省力化に資する機器の活用法
15	スマート林業推進研修	LPWAやアシストスーツなど軽労化、省力化に資する機器の活用法
16	スマート林業推進研修	LPWAやアシストスーツなど軽労化、省力化に資する機器の活用法
17	伐木災害防止研修	チェーンソーによる伐木災害の未然防止を図るため安全な作業方法
18	伐木災害防止研修	チェーンソーによる伐木災害の未然防止を図るため安全な作業方法
19	伐木災害防止研修	チェーンソーによる伐木災害の未然防止を図るため安全な作業方法
20	伐木災害防止研修	チェーンソーによる伐木災害の未然防止を図るため安全な作業方法

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	